

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和 6（2024） 年度実績	令和 7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫し たことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和 7 （2025）年度目標					
I-1	妊娠・出 産・子育て の切れ目な い支援	001	妊婦・出産ナビゲ ーション事業	面接率	96.80％ （現状：令和 2 年度末） 100％ （目標：令和 7 年度末）	96.7%	98.0%	「伴走型相談支援」と「経済 的支援」を一体的に実施して いく。「出産子育て応援事業 」にて、妊婦だけでなく、 夫・パートナーに対しても妊 娠期から出産子育てまでの 様々なニーズに即した支援に つなげた。	健康推進課	達成 「出産子育て応援事業」を継 続し、高い面接率を維持する ことができた。 引き続き、要支援者のさらな る把握に努め、切れ目のない 子育て支援をめざしていく。
		002	産後ケア事業（訪問 型・宿泊型）	利用者数	訪問型）676人 宿泊型）58人 （現状：令和 2 年度末） 利用者数増を目標とする （目標：令和 7 年度末）	訪問型）延602人 宿泊型）実370人 通所型）実309人	訪問型）延878人 宿泊型）実530人 通所型）実694人	区内契約施設を増やしたこと や訪問型産後ケアの予約方法 を見直したことにより、前年 度と比較し登録件数と実利用 人数が大幅に増加した。	健康推進課	達成 産後ケア事業は、順調に利用 数が増加している。今後も、 妊娠期から子育て期にわたる 切れ目のない支援を強化して いくことが求められているた め、産後ケア事業のサービス 形態や仕組みについて検討し ていく。
		009	オンラインによる妊婦 面接の導入	利用率	4.20％ （現状：令和 4 年度末） 5.00％ （目標：令和 7 年度末）	8.17%	9.68%	ホームページやチラシ等で、 オンライン面接の周知を行っ た。夏の暑い日や自宅安静等 で対面での実施が困難な妊婦 にも、面接が実施できるよう になった。	健康推進課	達成 オンライン面接の実績は年々 上がっている。妊婦面接実績 の向上にも繋がるため、引き 続き実施していく。
		016	多胎児家庭支援事業 （移動経費補助）	申請件数	198件 （現状：令和 2 年度末） 現状維持 （目標：令和 7 年度末）	103件	113件	年度当初に未申請の対象者宛 に勧奨通知を送付した。 令和 6 年度より、書面申請に 加え、LoGo フォームでの申 請を開始した。	健康推進課	変更 令和 2 年11月に事業開始。令 和 2 年度は遡及申請が可能で あったため、申請件数が多 かった。令和 7 年度実績は令 和 6 年度に比べ微増してお り、多胎児家庭への周知は変 わらず徹底しており、利用者 からの満足度は高く、支援 ニーズには概ね応えられてい る。
		026	子育て支援情報の発信	アクティブユー ザー数（1 日 に 1 回アプリを開 いた数）	ー ※令和 4 年度アプリ更新 （累計ダウンロード数 10,236件） （現状：令和 2 年度末） 利用者数増を目標とする （目標：令和 7 年度末）	102,818件	102,841件	子どもの成長記録や予防接種 スケジュール管理等の基本機 能のほか、「オススメえぼ ん」機能を取り入れ、各児童 館のおすすめ絵本の紹介を 行ったことで、わずかではあ るが、アクティブユーザー数 が昨年度と比較して増加し た。	子育て支援課	達成 板橋区の重点政策である「絵 本のまち」事業に関連した機 能の追加により、アクティブ ユーザー数を増加させること ができた。今後もユーザーの ニーズに合わせた機能の充実 を図っていく。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6（2024） 年度実績	令和7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫した ことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和7 （2025）年度目標					
I-1	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	031	子どもなんでも相談	相談対応件数	69,058件 （現状：令和2年度末） 78,000件 （目標：令和7年度末）	27,871件	31,430件	令和4年度の子ども家庭総合支援センターの開設により、相談対応が援助課と分散することとなったため、策定時と同一条件での実績把握は困難となっている。広報・周知の実施により、開設以来の相談件数は増加傾向にある。援助課（児童相談所部門）や健康福祉センターと連携しながら相談にあたった。	支援課	変更 個々の相談に対しては、子どもや保護者に寄添い丁寧に対応している。 目標値には届かないものの、児童相談所の開設以降毎年の相談増となっており、有効な策であると考えられるため引き続き継続していく。
I-2	誰もが希望する幼児教育・保育の支援	032	保育施設の整備	保育施設定員数	13,792人 （現状：令和2年度末） 14,278人 （目標：令和7年度末）	13,329人	13,493人	令和4年に待機児童ゼロを達成して以降、欠員の問題が生じている中、新規整備は慎重に検討している。	子ども政策課 保育運営課	未達成 令和4年から3年間待機児童ゼロを達成したが、令和7年4月時点で待機児童が7名発生しており、0・1・2歳児の定員の拡充や特定地域への小規模保育所の誘致を検討するなど、待機児童解消に向けて取り組んでいく。 一方、令和7年4月時点で0歳児294人、1歳児70人、2歳児105人、0～2歳児7人（家庭福祉員）、3歳児222人、4歳児233人、5歳児219人と欠員が多く生じている状況に変わりなく、新規整備については、引き続き慎重に検討していく。
		051	区立幼稚園での3歳児保育及び預かり保育の実施	預かり保育 延利用者数	延2,000人 （目標：令和7年度末）	延2,300人	延3,630人	保育利用の手引きや区ホームページでの周知に加え、周知用チラシを作成し、入園説明会や保護者会などで新入園児・在園児の保護者に説明を行った。	学務課	達成 令和6年度に預かり保育の利用時間及び利用料金を細分化したことにより、保護者のニーズに沿った利用が可能となった。その結果、延べ利用人数が増加し、目標達成につながった。
		053	保育士研修の充実	参加人数	2,910人 （現状：令和2年度末） 参加人数増を目標とする （目標：令和7年度末）	研修回数 145回 参加人数 4,054人	研修回数 118回 参加人数 4,346人	講義、保育実践報告、グループワーク、振り返り研修など、内容を充実させることで、保育の質の向上につなげることができている。また、保育士が保育の困難さを感じている課題をテーマにした内容を多く取り入れた。	保育運営課	達成 Zoom研修の導入などにより、受講者が参加しやすい環境を整え、研修を充実させていく。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和 6（2024） 年度実績	令和 7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫し たことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和 7 （2025）年度目標					
I-2	誰もが希望 する幼児教 育・保育の 支援	054	幼稚園・保育園・小学 校交流合同研修	参加園数	1 回目は中止 2 回目は動画配信 （現状：令和 2 年度末） 参加園数増を目標とする （目標：令和 7 年度末）	実施回数 2 回 1 回目 90園 2 回目 93園	実施回数 2 回 1 回目 101人 2 回目 94人	小学校教諭に保育園での子ど もの生活を伝える講義をした 後、近隣の保育園・幼稚園・ 小学校でグループを作り、グ ループワークを行った。教員 と保育士の交流の機会を提供 することで、保幼小連携につ ながることができた。	保育運営課	達成 保幼小間で情報交換の場を設 けることで、子どもたちのス ムーズな就学支援につなげる ことができている。今後も保 幼小の連携を図るべく、研修 を充実させていく。
II-1	子どもの命 と健康を守 ります	067	食育の推進	事業参加者数	740人 （現状：令和 2 年度末） 4,000人 （目標：令和 7 年度末）	6,997名	5,364名	農業まつりや他課との連携イ ベント、野菜摂取量充足度推 定機器を活用し、食育推進の 普及啓発を行った。	健康推進課	達成 当初計画と一部事業内容に変 更あり。 今後も地域イベント等におい て、栄養や食生活についての 情報提供を行う。
		075	出張歯みがき指導	実施か所数	9 か所 （現状：令和 2 年度末） 73 か所 （目標：令和7年度末）	105か所	88か所	保育園等からの依頼に応じて 抽選で実施している。媒体の 工夫や実習を取り入れており 、理解度も高い。出張指導 とともに、資料提供と動画案 内も実施している。	板橋健康福祉 センター	達成 目標を上回る実施となったが、 実施状況に偏りも見られるた め、希望施設全実施へ向けて調 整を強化する。引き続き質の高 い歯科健康教育を維持しなが ら、普及に取り組んでいく。
		079	予防接種	麻しん風しん混 合第 1 期接種率	99.6％ （現状：令和 2 年度末） 95.5％ （目標：令和 7 年度末）	94.8％	95.3％	定期接種期間間近になっても 未接種の方に個別にはがき送 付し、3月の予防接種週間で は町会掲示板に予防接種の打 ち忘れについての注意喚起用 ポスターを掲示した。	予防対策課	達成 未接種者へのはがきによる勧 奨を行うなど、接種漏れのな いよう周知を行った。
II-2	子どもが安心・安全に 暮らせる取 り組み	090	げんきっ子トラフィッ クスクール	実施園数	66園 （現状：令和 2 年度末） 実施園数増を目標とする （目標：令和 7 年度末）	100園 2,323人	83園 1,804人	私立保育園の職員が公立保育 園での「げんきっ子トラ フィクスクール」の見学を することで、より有効的な取 り組みとなるようにした。	保育運営課	達成 参加園数は減少したが、職員 が活動について学び合うこと で、内容の充実を図ることが できた。 今後も、内容の充実を図り、 実施園数増をめざしていく。
		093	自転車通行空間の整備	優先整備路線整 備延長	延16.6km （目標：令和 7 年度末）	7.5km （赤塚公園通り、とき わ通り、福寿通り、前 野中央通り、大谷口通 り、中丸通り、ほか） 令和 4 ～ 6 年度合計： 9.5km	7.1km （蓮根駅前通り、小豆 沢通り、若木通り、ほか） 計画期間（令和 4 ～ 7 年度）合計：16.7km	令和 7 年度は、関係機関と遅 滞なく協議し、計画どおり整 備を完了することができた。	土木計画・交 通安全課	達成 優先整備路線16.7kmの整備 を達成した。今後も「板橋区 自転車活用推進計画」に基づ き令和12年度まで優先整備路 線を整備した後に、ネット ワーク路線の整備を順次進め る。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和 6（2024） 年度実績	令和 7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫した ことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和 7 （2025）年度目標					
Ⅱ-2	子どもが安心・安全に暮らせる取 り組み	096	公園のユニバーサルデ ザイン化	改修した公園数	4 か所 （現状：令和 2 年度末） 7 か所 （目標：令和 7 年度末）	5 か所（令和 6 年度整備 1 か所）	5 か所（令和 7 年度整備無し）	公園の改修にあたり、説明会 やワークショップ、アンケート等 を実施し、公園利用者の ニーズに合った公園整備を進 めている。	みどりと公園 課	変更 残り 2 か所（板橋公園、四葉 公園）は、令和 8 年度に整備 を完了する計画へ変更した。 引き続きユニバーサルデザイ ンに配慮した公園整備を進め ていく。
		100	板橋セーフティー・ ネットワーク	協力事業者数	129事業者 （現状：令和 2 年度末） 155事業者 （目標：令和 7 年度末）	158事業者	163事業者	防犯講習会や防犯イベントで の周知を図った。	防災危機管理 課	達成 防犯講習会や防犯イベントで の周知により、計画期間での 目標を達成することができ た。引き続き、区公式ホーム ページやSNSも活用しなが ら、制度の周知に努めてい く。
		105	「板橋区版スマート フォン等を使うための ルール」の周知・啓発	リーフレット活 用率	63.4％ （現状：令和 2 年度末） 90％ （目標：令和 7 年度末）	87.8％	72.4％	リーフレットの発行・アン ケートの実施等を、板橋区立 学校等緊急連絡・お知らせ配 信システム「すぐる」を通 じて案内するなど、ICT機器 の活用の継続。 今年度から小学校低学年世帯 向けに「共用」に係るルール についても記載し、ターゲッ トの幅を広げた。	地域教育力推 進課	概ね達成 親子で一緒に考え取り組む きっかけを提供することで、 「保護者の意識向上」や「親 子のコミュニケーション向 上」が図られ、一定の成果が 上がっている。引き続き、保 護者のニーズを把握・反映さ せた事業展開をすることで、 子どもたちの自立心を培いつ つ、子どもたちや家庭の孤立 化を防止し、家庭における教 育力を高めていく必要がある 。
		106	PTAと協働した安全対策 事業	実施事業数	2 事業 （現状：令和 2 年度末） 現状維持 （目標：令和 7 年度末）	2 事業 （「子どもを守ろう！ 合同パトロール」、 「こども110番クリア フォルダー」の作成）	2 事業 （「子どもを守ろう！ 合同パトロール」、 「こども110番クリア フォルダー」の作成）	「子どもを守ろう！合同パ トロール」の実施にあたり、板 橋区立小・中学校PTA連合会 以外にも、町会・自治会や板 橋セーフティー・ネットワー ク参加事業者などの関係機 関・団体に対して、パトロー ル・見守り活動の強化を要請 することで、子どもたちの健 やかな成長を地域で見守る関 係機関相互の連携を強化する ことができた。	地域教育力推 進課	達成 板橋区立小学校PTA連合会と 協働した、「こども110番ク リアフォルダー」の作成・配 付や、板橋区立小・中学校 PTA連合会と協力した「子ど もを守ろう！合同パトロー ル」の実施を通じ、子どもた ちの安心・安全な環境づく りに寄与している。引き続き、 関係機関との連携をより一層 強化しつつ、持続可能性を見 据えた効果的・効率的な事業 実施手法を模索する必要があ る。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和6（2024） 年度実績	令和7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫し たことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和7 （2025）年度目標					
Ⅲ-1	特に配慮が 必要な子ど もの健やか な成長を支 援	112	障がい児通所支援	児童発達支援セ ンター数	2か所 （現状：令和2年度末） 2か所以上 （目標：令和7年度末）	3か所	3か所	個々の障がい児の特性等を踏 まえた通所支援計画を作成 し、日常生活における基本的 動作や知識技能を習得し、集 団生活に適応できるよう支援 を行った。	障がい政策課	達成 区内において児童発達支援セ ンターを3か所設置してい る。今後はセンター間での連 携強化を図りつつ、地域にお ける障がい児支援の中核的な 役割をめざす。
		113	医療的ケア児の受入	実施園数	2園 （現状：令和2年度末） 現状維持 （目標：令和7年度末）	5園 （高島平あやめ保育 園・上板橋保育園に加 え、令和6年度から坂 下三丁目保育園・中板 橋保育園・ゆりの木保 育園を追加）	7園 （区立保育園5園、私 立保育園2園） 医療的ケア児の受入を 実施している区立保育 園5園のうち3園に在 園。（公立） 私立の受入園に 対して、加算 金及び補助金を創設し、受入 園の体制支援を行った。（私 立）	板橋区医療的ケア児受入れガイ ドラインを見直し、実施園 にとってわかりやすいものに 変更した。（公立） 私立の受入園に 対して、加算 金及び補助金を創設し、受入 園の体制支援を行った。（私 立）	保育運営課 保育サービス 課	達成 入園を希望している医療的ケ ア児を保育園、医療的ケア児 双方にとって不安なく受入れ できるように検討をしてい く。
		122	あいキッズにおける要 支援児受入	受入可能施設数	51か所 （現状：令和2年度末） 現状維持 （目標：令和7年度末）	受入可能施設数：51か 所 実際に対象者を受入れ た施設数：44か所	受入可能施設数：51か 所 実際に対象者を受入れ た施設数：46か所	会議などでの情報の共有、専 門家による現場職員への助言 など、児童の安全な受け入れ に対する支援を行った。	地域教育力推 進課	達成 引き続き51あいキッズで要支 援児を安心安全に受け入れで きるよう工夫していく。
		131	要支援児保育巡回指導	実施園数	129園 （現状：令和2年度末） 実施園数増を目標とする （目標：令和7年度末）	144園	144園	要支援児保育が必要となった 園に対して速やかに心理判定 員の配置を行った。	保育サービス 課	達成 安心して要支援児保育を行え るよう、園や心理判定員のサ ポートを行う。
		134	特別支援学級の設置	開設数 ※特別支援教室 拠点校含む	36校 （現状：令和2年度末） 現状維持 （目標：令和7年度末）	36校	36校	一人ひとりの教育的ニーズに 的確に応えられるよう、アセ スメントの充実、専門性の向 上に資する専門家相談の実施 等を行い、特別支援教育の充 実を図った。また、特別支援 学級の開設については、新た な障がい種の特別支援学級の 開設について検討を進めた。	指導室	達成 知的障がいの特別支援学級の 開設運営について、必要に応 じて検討を行う。自閉症・情 緒障がいの特別支援学級につ いては令和10年度の開設に向 けて検討を進める。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和 6（2024） 年度実績	令和 7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫し たことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和 7 （2025）年度目標					
Ⅲ-2	貧困や虐待 から子ども を守ります	137	母子・父子自立支援プ ログラム策定事業	策定件数	7 件 （現状：令和 2 年度末） 15件 （目標：令和 7 年度末）	25件	30件	令和 7 年度は例年より新規策 定が増加した。この増加は、 給付金を利用するためにプロ グラムを策定することを要件 として加えたことが要因の一 つと考えられる。	地域福祉連携 課	達成 ひとり親家庭への給付金を支 給するためにプログラムを策 定することを必須としたこと で、困難を抱える父母に対す る自立に向けた伴走型の支援 を展開できているため、今後 も区民の方のニーズや課題等 を支援員と共有し、自立に向 けた支援を継続的に行ってい く。
		146	子どもの学習・生活支 援事業「けやきば」 （旧「まなぶーす」）	利用登録者数	134人 （現状：令和 2 年度末） 150人 （目標：令和 7 年度末）	155人	161人	事業名や実施場所が令和 7 年 度より変更となり、改めて関 係機関に周知を行った。また 利用申込の一部に二次元コー ドを使用し、支援が必要な家 庭が利用しやすいよう工夫し た。	地域福祉連携 課	達成 事業を通して進学を含め子ど もたちの学習を支援すること ができた。また、さらなる周 知活動を通してこれまで活用 していなかった子どもたちにも 事業を広めていく。
		149	養育費確保支援事業	申請件数	※令和 3 年度事業開始 30件 （目標：令和 7 年度末）	41件	39件	昨年同様、区の戸籍窓口や板 橋区公証役場に当事業のチラ シを置くことによる周知のほ か、ひとり親家庭相談窓口主 催のセミナーで、離婚前の方 へ養育費確保支援事業の周知 を行った。 その結果、申請件数は、令和 6 年度と同水準となった。	地域福祉連携 課	達成 補助金メニューを段階的に拡 充し、個々の状況に応じた養 育費の取り決め方法により、 養育費の継続した履行確保に 寄与した。申請件数は増加傾 向にあることから、引き続き あらゆる機会・媒体を通じて 制度の周知を行っていく。
		162	子ども家庭支援事業	相談対応件数	474件 （現状：令和 2 年度末） 相談対応件数増を目標と する （目標：令和 7 年度末）	1,536件（新規受理件 数のうち虐待を除く）	1,692件（新規受理件 数のうち虐待を除く）	保護者の病気や経済状況など、家庭環境に何らかの課題 がある子育て家庭の相談が増 加傾向にある。所内での情報 共有及び支援策の検討を実施 し、組織として対応した。	支援課	達成 平日の開所時間以外もコール センターで受電対応するなど 相談体制を確保し、迅速な対 応と早期解決を図っている。 引き続き、各相談に丁寧に対 応していく。
		163	子ども家庭援助事業	児童虐待受理件 数	1,300件 （目標：令和 7 年度末）	1,131件	1,318件	警察や学校、病院等の関係機 関と定期的に意見交換会を行 い、児童虐待が生じた場合や 疑いがある場合の初動対応に ついて、それぞれの役割を確 認するとともに、情報交換を 行い、連携を深めている。	援助課	達成 虐待に対する社会的関心が高 まる現状において、関係機関 や近隣住民からの通告や相談 が増加したことで、児童虐待 受理件数は増加傾向にありま す。今後も迅速で適正な初動 対応が行えるよう、引き続 き、関係機関等と綿密に情報 交換を行っていく。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和 6（2024） 年度実績	令和 7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫した ことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和 7 （2025）年度目標					
Ⅲ-2	貧困や虐待 から子ども を守ります	165	里親事業	養育家庭登録数	22件 （現状：令和 2 年度末） 44件 （目標：令和 7 年度末）	32件	35件	今までの普及啓発活動の継続 に加え、区内商業施設やくる くるパークへのブース出展、 区公式SNSでの情報発信、本 庁舎南館デジタルサイネージ やスマートバス停での配信、 コミュニティバスにポスター 掲示等様々な手法による普及 啓発活動を行い、里親制度の 認知度向上、里親登録数の増 につながった。	援助課	概ね達成 令和 7 年度は新規登録が 7 件 あり、転出や辞退による登録 取消が 4 件あった。着実に区 内での里親制度の認知度は広 まっている。今後は認知度を 登録数につなげるため、関係 機関との連携を強化するとと もに、普及啓発活動の継続と 見直し、効果的な普及啓発の 方法を模索していく。
		167	読み解く力の促進	実施状況	対象の全児童・生徒実施 （現状：令和 2 年度末） 現状維持 （目標：令和 7 年度末）	74校 （区立小学校51校、 区立中学校22校、区立 天津わかしお学校 1 校）	74校 （区立小学校51校、 区立中学校22校、区立 天津わかしお学校 1 校）	アセスメントを着実に実施す るとともに、アセスメント結 果をどのように指導改善に生 かすかをリーフレットにまと め、区内小中学校に配付し た。	指導室	変更 本事業を通して、全国学力学 習状況調査の結果が向上する など、成果が見られた。今後 は、「MIRAI SCHOOL いたば し教育ビジョン2035」に基 づき、新たな取組を検討して いく。
		171	ロボットプログラミン グ教室の実施	実施回数	34回 （現状：令和 2 年度末） 52回 （目標：令和 7 年度末）	146回	110回	新設したアート講座は毎月 2 回実施としたが、毎回定員 10 名程度が満席状態であっ た。ロボットプログラミング は「発想する体験」に重点を 置いた内容にしたところおお むね評判が向上した。	生涯学習課	達成 エレベーター工事による休館 期間を除き、各月で継続的に 実施することができた。今後 も、初心者から上級者まで幅 広い参加者が楽しみながら学 べる教室となるよう、内容や 運営方法を工夫しながら継続 していく。
Ⅳ-1	これからの 社会を生き 抜く力を養 成	175	子ども向け美術普及	ひよこ・たぬき アトリエ参加者 数	0 人※事業中止 （現状：令和 2 年度末） 144人 （目標：令和 7 年度末）	127組349人 （親176人、子173人）	112組290人 （親149人、子141人）	多くの方が参加しやすいよ う、家族単位での参加を可と している。 引き続き、ゆとりを持った定 員設定とした結果、講師の目 が行き届き、会話を交えた双 方向の講座とすることができ た。	文化・国際交 流課	達成 令和 4 年度からブランド戦略 の 1 事業と位置付けたため、 「こどもアトリエ」に事業名 を変更し、以降、軌道に乗り 目標を達成できた。 作業スペースを確保し、講師 の目が行き届くよう、定員は 12 組で継続予定である。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和 6（2024） 年度実績	令和 7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫し たことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和 7 （2025）年度目標					
IV-1	これからの 社会を生き 抜く力を養成	209	図書館を使った調べる 学習コンクール	参加校数	51校 （現状：令和 2 年度末） 66校 （目標：令和 7 年度末）	区立小学校 44校 区立中学校 3 校 私立小学校 1校	区立小学校 47校 区立中学校 4 校 私立小学校 1 校	ホームページ・SNSで調べる 学習相談会などを情報発信し た。また、調べ学習の進め方 動画を配信し、自由に閲覧で きる環境を整えた。小学校に 対しては、出張授業を行い、 児童に調べる学習の説明を 行った。また、図書館内で相 談会を実施し、調べる学習の 支援を行った。表彰式では、 最優秀賞受賞者にインタ ビュー形式で作品について質 問する時間を設け、児童・生 徒から直接成果を発表する機 会をつくった。	中央図書館	概ね達成 中央図書館で実施する相談会 の募集人数を大幅に増やし、 専門家による講座とする。ま た、区独自の賞を増設し、参 加意欲を喚起することで魅力 的なコンクールとする。
IV-2	自信をもっ て大人へと 成長する子 どもと家庭 を支援	211	いたばし若者サポート ステーション	新規利用者数	71人 （現状：令和 2 年度末） 140人 （目標：令和 7 年度末）	新規利用者：72人 新規利用者数 令和 4 ～ 6 年度合計： 225人 来所延人数 令和 4 ～ 6 年度合計： 7,806人	新規利用者：90人 新規利用者数 計画期間（令和 4 ～ 7 年度）合計：315人 来所延人数 計画期間（令和 4 ～ 7 年度）合計：10,652人	毎月区の交換便にて、図書館 等公共施設へパンフレット、 セミナー予定表、見学会チラ シを配布し、近隣のハロー ワーク等就労支援機関、精神 保健福祉センター等の関係機 関、近隣の大学 6 校、居場所 支援 4 か所へ郵送した。 7 月に区内の町会掲示板にポ スター掲示した。 広報いたばしに 3 回掲載 ホームページやLINEを活用 新規登録者の情報入手元が ホームページ（24％）と家 族・知人（21％）であること から、上記のとおり事業周知 活動に力を入れている。	産業振興課	未達成 パンフレット、セミナー予定 表、チラシの公共施設での配 布や、近隣の関係機関や大学 への郵送、町会掲示板でのポ スター掲示、ホームページや LINEなどを活用し、区民に 周知を図ることで、新規利用 者数は25％増加した。 上記に加え、予約不要でサ ポートステーションを見学で きる施設見学会や保護者対象 のセミナーの開催などによ り、新規利用者の増をめざし ていく。
		213	中学・高校生の子育て 体験事業	ボランティア受 入延べ人数	0 人※事業中止 （現状：令和 2 年度末） 延500人 （目標：令和 7 年度末）	127人 【内訳】 中学生：118人 高校生：9 人 令和 4 ～ 6 年度合計： 387人 【内訳】 中学生：378人 高校生：9 人	99人 【内訳】 中学生：96人 高校生：3人 計画期間（令和 4 ～ 7 年度）合計：486人 【内訳】 中学生：474人 高校生：12人	受け入れを継続的に可能にす る体制を維持し、保育士の仕 事を中学生に認知してもら うことで将来の職業選択の一つ として保育士を検討する一助 となるほか、幼児と触れ合う 機会を持つことで得られる新 しい視点を見つける機会を提 供した。	保育運営課	達成 コロナ禍以降、徐々に参加者 数は回復傾向にある。引き続 き様々な場面で周知を図りな がら、事業を展開していく。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和 6（2024） 年度実績	令和 7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫し たことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和 7 （2025）年度目標					
IV-2	自信をもっ て大人へと 成長する子 どもと家庭 を支援	220	不登校改善重点校事業 の実施	重点校数	5校 （現状：令和 2 年度末） 現状維持 （目標：令和 7 年度末）	15校	14校	これまで中学校を中心に重点 校を指定してきたが、小学校 にも拡大し、支援の充実を 図った。	指導室	達成 本事業を通して、各学校の不 登校対応力が強化されるな ど、成果が見られた。今後は、 「不登校改善重点校」と して指定するのではなく、全 ての学校に還元できる事業に さらに改善を図っていく。
		223	板橋フレンドセンター （適応指導教室）	登録児童・生徒 数	148人 （現状：令和 2 年度末） 180人 （目標：令和 7 年度末）	185人	181人	大学生ボランティアを活用し、 通級児童と年齢の近いスタッ フによる交流を図るとともに、 パラアスリートの講演会やふ れあい動物園事業など、各種 体験事業を充実させた。運営 の手引きを見直し、学校が苦 手な児童が来やすくなるよう、 部屋の名称を変えるなど学校 らしさを払拭するための取組 を行った。	教育支援セン ター	達成 様々な理由で学校へ通えない 児童・生徒のための居場所の 1 つとして、今後も事業を充 実・継続していく。
		224	スクールソーシャル ワーカーの活用	訪問延べ回数	1,213回 （現状：令和 2 年度末） 1,600回 （目標：令和 7 年度末）	5,814回	7,622回	スクールソーシャルワーカー を中学校に配置する拠点校型 の利点を活かし、教職員と協 働しながら、迅速かつ適切な 支援ができています。また、小 学校への巡回も強化し、早期 発見・対応をすることで切れ 目のない支援を行っている。 上記対応によって、訪問延べ 回数（対応件数）が増加して いる。	教育支援セン ター	達成 令和 5 年度よりスクールソー シャルワーカーの配置方法を 拠点校型にしたことでスクー ルソーシャルワーカーの効果 的活用が進んだ。今後も福祉 的支援が必要な児童・生徒に 対して、教職員・関係機関と 協働しながら、早期発見・対 応を行い、効果的な支援を実 現していく。
V-1	子どもが誇 りを持てる いたばし	231	コミュニティ・スクー ル委員会の運営	学校経営にiCSを 取り入れている 度合い	46.2％ （現状：令和 2 年度末） 70％ （目標：令和 7 年度末）	58%	56%	アドバイザー派遣、iCS フォーラム、CS委員基礎研 修、CS委員長研修を行うな ど、関係者の意識向上につな がる取組を行った。 また、広報誌（iCSレター）を 年 5 回発行し、好事例の情報 発信を行った。	地域教育力推 進課	概ね達成 コミュニティ・スクール委員 会の全校設置から 6 年が経過 し、運営の定着は一定程度図 られた。今後はさらにiCSの 仕組みが円滑に機能するよう 支援を行っていく。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和 6（2024） 年度実績	令和 7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫し たことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和 7 （2025）年度目標					
V-1	子どもが誇 りを持てる いたばし	232	学校支援地域本部事業 の推進	学校支援ボラン ティア数	68,823人 （現状：令和 2 年度末） 102,200人 （目標：令和 7 年度末）	69,781人	69,938人	地域コーディネーター初任者 研修、情報交換会、交流サロ ン等を開催し、好事例共有や 統括コーディネーターによる アドバイスをを行った。また、 統括コーディネーターが新任 校長を訪問し学校支援地域本 部の活用方法を支援した。	地域教育力推 進課	概ね達成 学校支援に関わるボランティ ア数は少しずつ増加してい る。ただし、学校地域によっ て主体性や活動内容に差があ るため、引き続き、学校・家 庭・地域が一体となって子ど もをはぐくむ環境整備を進め ていく。
		234	子育て支援員の活動支 援	子育て支援員養 成講座修了者数	0 人※事業中止 （現状：令和 2 年度末） 毎年70人 （目標：令和 7 年度末）	—	—	※事業廃止（令和 6 年度）	保育運営課	変更 子育て支援員養成講座の受講 者数は年々減少し、また、東 京都において、年間を通じて 当該講座を実施しているた め、区民への影響が少ないこ とに鑑み、令和 6 年度をもっ て本事業を廃止した。
		238	職場体験学習（中学生 向けインターンシッ プ）	実施校数	3 校※コロナの影響によ る （現状：令和 2 年度末） 22校 （目標：令和 7 年度末）	22校	22校	学校や地域の実態に応じて、 多様な体験学習が実施され た。生徒が職場体験をするほ か、出前授業として地域の企 業等の協力を得ることがで き、充実した活動となった。	指導室	達成 本事業は、生徒が自らのキャ リアについて主体的に考える きっかけとなる事業である。 今後も、学校や地域の実態を 大切にしながら取り組んでい く。
		240	若者の居場所づくり事 業	i-youth利用者が 企画運営に携わ る事業・イベン ト数	9 事業 （現状：令和 2 年度末） 事業・イベント数増を目 標とする （目標：令和 7 年度末）	7 事業 （ダンスフェスタ 1 回、ミュージックコン サート 2 回、まなフェ ス i-youth企画「i- youth食堂」 1 回、 シーズンコンサート 3 回）	6 事業 （ダンスフェスタ 1 回、ミュージックコン サート 1 回、まなフェ ス i-youth企画「i- youthカフェ」 1 回、 シーズンコンサート 3 回）	中高生・若者が主体的に事業 の企画運営に携わり、一つの ものを作り上げる楽しさや達 成感を得られるよう事業の運 営方法を工夫した。また、生 涯学習センターで活動される 方々が事業に参加できる機会 を一部提供し、「世代を超え た交流」も実現できた。	生涯学習課	概ね達成 中高生・若者の i-youth 事業 への主体的な関わりが生ま れ、中高生・若者が企画し運 営する事業が実施できてい る。引き続き、中高生・若者 主体の事業づくりを支援して いく。
		245	図書館サポーターの育 成	講座数	3 回 （現状：令和 2 年度末） 8 回 （目標：令和 7 年度末）	8 回	7 回	多様な子どもたちへのサポー トを推進するための講座を実 施した。 パネルシアターを開催し、新 たな活動の幅を広げるため、 物品等を新規で貸出可能に し、環境を整備した。	中央図書館	概ね達成 図書館サポーターの講座を実 施し、講座のアンケートでは 全体で 98％以上の満足度を得 られた。今後も多種多様な講 座を開催していくことで、今 後も多様な子どもたちへのサ ポートを推進するため活動を 支援していく。

基本 目標	施策	No.	事業名	実績確認項目		令和 6（2024） 年度実績	令和 7（2025） 年度実績	事業の遂行にあたって工夫し たことやその成果など	担当課	実績に対する評価・総括 （今後の方向性）
				定量的実績						
				指標	計画策定時と令和 7 （2025）年度目標					
V-2	「子育てするなら“いたばし”で」を実現	251	いたばしグッドバランス推進企業表彰	応募企業数	4 社 （現状：令和 2 年度末） 5 社 （目標：令和 7 年度末）	応募企業数 7 社	応募企業数 4 社	板橋区立企業活性化センター等の関係機関と連携し、周知を行った。令和 6 年度から引き続き、受賞企業紹介のためのインタビュー動画や展示用パネルを作成し、各種事業で掲示する取組を実施した。	男女社会参画課	概ね達成 年度別計画の 5 社には届かなかったものの、令和 3 年度から令和 7 年度までの累計実績が 28 社となり、計画期間全体の目標である 25 社を上回る結果となった。今後も、産業振興課と連携し、区内企業におけるワーク・ライフ・バランスを推進し、家庭生活と仕事を両立しやすい環境づくりを進めていく。
		269	板橋こども動物園	利用者数	341,754人 （現状：令和 2 年度末） 600,000人 （目標：令和 7 年度末）	563,892人	561,993人	令和 7 年度にInstagramを開設し、季節イベントに関連した投稿を行う等、工夫して情報発信を行った。また、2025 年度グッドデザイン賞を受賞し、受賞後の PR に力を入れた。受賞を記念した記念カードを作成し、SNS や町内モニター、バス停のデジタルサイネージ等、各所で周知を行った。	みどり公園課	達成 指定管理者の知見を活かし、充実したプログラムの提供やより効果的な魅力発信を行うことで、利用者数の増加をめざす。
		271	i-youth（あい・ゆうす）	利用者数	14,346人 （現状：令和 2 年度末） 40,000人 （目標：令和 7 年度末）	i-youth利用者 27,532人 （大原 15,966人、成増 11,566人）	i-youth利用者 30,822人 （大原 19,259人、成増 11,563人）	利用者に対し、ダンス等の練習場所や自由に過ごすスペースの提供や音楽を通じた利用者同士の交流の機会を設けた。また、未来の中学生である小学生の利用促進にも取り組んだ。	生涯学習課	概ね達成 中高生・若者が気軽に立ち寄れる居場所として機能できている。今後、施設の改修等が一部予定されている中での活動環境の維持・整備を行っていく。

○評価標語と定義

評価標語	定義
達成	令和7年度末までの目標事業量を計画どおり（概ね9割以上）達成したもの。
概ね達成	令和7年度末までの目標事業量を概ね7～9割達成したもの。
未達成	令和7年度末までの目標事業量の達成率が概ね7割未満の実績であったもの。
変更	新型コロナウイルス感染症対策など、社会情勢等により計画を変更したもの。